

2024年2月

獨協大学法学部に合格された皆さんへ

獨協大学法学部長
鈴木 淳一

獨協大学法学部へようこそ 合格おめでとうございます

獨協大学法学部の入学試験に合格された皆さん、おめでとうございます。

獨協大学法学部は、皆さんが将来の夢や希望を語り、生きるための知識や勇気を持ち、一人の独立した個人として世界に羽ばたくことができるように、皆さんのお手伝いをします。

法学部には、法律学科、国際関係法学科、総合政策学科の3つの学科があり、様々な能力を身につけられるようになっていきます。自分にあった道を探し出し、自分の可能性を伸ばしましょう。自分で選んだ4年間を充実したものにしてください。

自分の意思で法学部を選んだ皆さんが、法律や政治の専門用語を前に、頭を抱えたり、身構えてしまったりすることはないかもしれません。しかし、たった一人で法律や政治を勉強し、一定の成果を挙げることは並大抵のことではありません。

法学部では「大学は学問を通じての人間形成の場である」という建学の理念にそって、少人数教育を取り入れています。私たちは学生や父母・保護者と教員との距離が近い「あたたかな雰囲気のコミュニティー」を形づくるようにしています。法学部では、専任教員全員がクラス・アドバイザーとなり、学生が授業や大学生活や将来について、自由に相談できるようになっています。

教員から直接身近に指導を受け、時には叱咤激励されながら、法学や政治学を学び、成長できることが本法学部の魅力です。

法学部でのまなび

(1) カリキュラムの特色—伝統を踏まえつつ未来へ

皆さんが入学する獨協大学は1964年に開学し、法学部は1967年に設置されました。獨協大学の前身である「獨逸学協会学校」は、1883年に設立され、1885年には法律および政治の専門学科として専修科が設置されました。獨協大学の前身である獨逸学協会学校は、ドイツ法を教える唯一の法律学校として「九大法律学校」の一つに数えられました。

本法学部では、獨逸学協会学校の伝統を踏まえつつ、法学・政治学を基礎から体系的に学ぶことができ、卒業後の進路に資する勉学をするためのさまざまな手段を用意しています。勉学の目標に応じた複数の学科、コースを設けているほか、将来、法科大学院、資格試験、公務員試験等を目指す学生のために、本学では各種の講座を開設しています。それぞれの学習の現場では、教員が皆さんの質問にも気軽に応じてくれるはずです。そ

の成果として、近年続々と公務員試験、司法試験、各種資格試験合格者が誕生しています。私たちは皆さんが安心して学習できるカリキュラムと環境を提供します。

(2) 「弁護士」、「検察官」、「裁判官」になって

講義の一環として行われる模擬裁判。ここでは、現実の事件を基にして作られた架空の事件が、学生諸君の手によって実際と同じように審理され、それに基づいて判決が下されます。模擬法廷教室において、学生の皆さんの演じる被告人、弁護人、検察官、裁判官が展開する本物さながらの裁判ドラマである「模擬裁判」は、教員と学生とが一体となった共同作業により創られるものです。その教育効果には計り知れないものがあり、アメリカのロー・スクールなどでも早くから取り入れられてきたものです。

(3) 社会の最前線を体験する

法学部では、各界で活躍している方々をお招きして「法政総合講座」を開講しています。2022年度からは、1年生に大学卒業後のキャリアについて考えてもらうために、本学の卒業生に来校してもらい職場の生の声を届けてもらう講義「実社会における法学・政治学」を新設しています。

法学を学ぶ上で大切な、基礎的な体験学習として、刑務所や税関等の施設見学があります。また、法学部では個々人で出かける裁判所見学も勧めています。実際の裁判を傍聴することを通して、大学で学んだ知識を検証し理解を深めましょう。各施設見学への参加はリーガルマインド（法的なものの見方、考え方）を養うための手段として、たいへん貴重な体験といえるでしょう。

さらに、将来の職業を見据えたものとして、インターンシップ(地方自治体、企業等研修)が実施されています。これを利用して企業や官公庁での仕事を実際に体験することは、皆さんが進路の決定や学習の方向を決めるのに大いに助けとなるでしょう。

(4) 授業や情報収集を通じて情報通信技術（ICT）を修得

法学や政治学を学ぶ上で、情報の収集、分析、活用の技術は必要不可欠な要素です。法学部では、膨大な法律や判例、さまざまな出版物の中から必要な情報をすばやく参照できるよう、さまざまなデータベースを用意しています。また大学の授業は対面で行いますが、授業の中には Zoom を使った遠隔授業で実施されるものもあります。さらに 2024年度から開設される「情報科学教育プログラム」に法学部も参加します。獨協が得意とする「文系の専門知識」に、「理系のデータサイエンス・スキル」を新たにプラスすることで、文理融合の分野にも強く、社会の即戦力として期待される力を育成することができます。

(5) 多様な進路が皆さんを待っています

法学は、人々の生活や経済活動と深くかかわっています。法学を学ぶことで、社会で活躍するために必要な社会制度、政治制度についての知識を身に着けることができます。

それゆえ、法学部出身の学生は公務員試験や資格試験に強いといわれています。法学部では、国家公務員・地方公務員はもちろん、中央・地方の企業から、国内外のNPO・NGO、国際機関で働きたい人、中学校・高等学校の教員になりたい人、法科大学院などの専門職大学院をはじめとする国内外の大学院に進学したい人、こうした人に多種多様な進路の選択を提供しています。

また学内にいながら予備校の受験対策講座が受講できる「法律職対策講座」も開講しています。

(6) 「語学の獨協」の卒業生として一国際舞台で活躍できる語学力を身につけよう

国際舞台で活躍するためには国内法や国際法や国際政治の知識だけでは充分とはいえません。事実上の国際共通語である英語の実践能力も、「語学の獨協」の学生としては必須なものの一つです。法学部では英語が必修科目になっています。特に、国際関係法学科と総合政策学科では学科の特徴として、英語の授業時間を法律学科の1.5倍にしています。さらに、卒業単位外で外国語力を磨く、英会話コースやネイティブ話者との会話の機会も多く設けています。

(7) 本格的な留学も応援しています

獨協大学では、海外のさまざまな教育機関と協定を結んでいるほか、本学学生を対象とした各種の留学制度を用意しています。法学部の学生は、短期留学・長期留学いずれの場合も、留学先で取得した単位について卒業単位としての認定が一定の範囲で受けられるようになっています。

以上